



© Yuki Asada

丘の向こうで生まれたビーズのアクセサリー

東アフリカの内陸国、ウガンダ。“アフリカの真珠”と称されるほど自然豊かなこの国から、太陽の光のようにまぶしくてカラフルな雑貨が届いた。

生産地はタンザニアとの国境近くに位置するイシンジロ。辺り一面、いくつもの急斜面の丘が連なるこの地域。その景色は息をのむほどの美しさだが、どこに行くにもこの丘を越えなければならない。買い物も水くみも、学校に行くのも一苦勞。まさに“陸の孤島”だ。それでも女性たちはいつも明るくて元気。家事に畑仕事に、懸命に汗を流している。その一方でこの地域ではHIV／エイズのまん延が深刻な問題。シングルマザーも多

く、生活は決して楽とは言えない。

そこで青年海外協力隊員が地元のNGOと協働で取り組んでいるのが、ビーズを使ったアクセサリーの製作。「ウガンダの女性は、手先が器用で技術を習得するのも早い。デザインセンスもある」と関口聖子隊員。売れる商品を作るために品質を意識するようになった結果、売り上げも順調に伸びている。「子どもを学校に行かせられるようになって、うれしい」とみんな笑顔で話す。

色とりどり、キラキラ光るビーズに、彼女たちの笑顔が映し出されてくるよう。ぜひ一つ、夏のファッションアイテムに加えてみては。



一つ一つ、糸に小さなガラスのビーズを丁寧に通していく。子育てと両立して仕事に励んでいる

★ビーズのネックレスとブレスレットを各3人、ボールペンを2人にプレゼント! →詳細は38ページへ

